

癌の治療経過中に発生する合併症に対する 治療法の開発

たむら かずお
田村 和夫 医学部・医学科・腫瘍・感染症・内分泌内科学 教授

キーワード 臨床血液、腫瘍学、感染症学、糖尿病・内分泌学

研究概要

癌の治療経過中に発生する合併症に対する治療法の開発

研究内容及び今後の展望

がんによる合併症や抗がん治療に伴う副作用は極めて頻度が高い。
特に好中球が減少した際の発熱は、時に重篤化し、死に至る可能性がある。この状態に対する治療法の確立を求めて、抗菌薬、抗真菌薬をはじめ、サイトカインの使用法の研究を実施している。

研究適用分野・用途

研究設備	
企業に対する 二 一 ズ	<input checked="" type="checkbox"/> 共同・受託研究の相手 <input type="checkbox"/> 試作に協力する企業 <input type="checkbox"/> 研究成果の事業化のパートナー <input type="checkbox"/> その他 ()
特許取得状況等	有 (無)